

総合戦略の進捗状況は

目標数値達成に前進する



なかしま 一郎 議員
中島 一郎

を行なった。

観光振興では、平成31年度までに、観光入り込み客数一人の見込みであるものが、すでに平成29年度には達成する見込みとなっている。

また、移住促進の実績は、平成27年度は11世帯で22名、平成28年度は20世帯で35名だが、一層の支援策に取り組み。

そして、平成29年度の予算編成においては、基幹産業の担い手づくりの推進、移住者支援の充実、切れ目のない子育て支援、地域で支える健康づくり、ソフト面を中心とした防災対策、生きる力を育む教育の充実を重点項目としている。

平成29年度から新たに、不妊治療への支援や、在宅子育て支援として、3歳未満の子供に、第1子、2子については、月額2万円、第3子以降

については月額3万円を補助する支援制度を設けた。全国的には、ほとんど例を見ない町独自の取り組みだ。

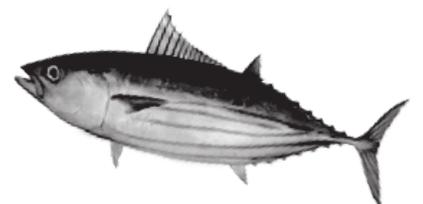
答 大西町長

今年度は、折り返しの節目の年ということで、しっかりと人口目標に対して、具体的な施策が打っているか効果の検証、これから取り組んでいく戦略、これをいかに進捗管理していくのか各課からのヒアリングを行い、できれば夏までに取りまとめて総合戦略のアクションプランとして提示することを考えている。

水産業振興

活餌供給事業の運営は

29年度以降も継続する



答 尾崎海洋森林課長

平成26年度からは、事業主体を漁協から活餌供給機能対策協議会を組織して、県、町の補助金を活用しながら3年間の運営を実施してきた。

佐賀漁港への水揚げの内、活餌購入関連の水揚げ実績は3年間で11回の事業を行い、関連水揚げ額は1億5391万円となっている。

佐賀漁港への水揚げ効果も大きく、土佐佐賀のカツオブランドを定着させるためにも平成29年度以降も継続していく。

【その他の質問】

※防災対策について



観光振興による交流人口の拡大（上2枚）

問 平成27年度から平成31年度までの5年間を期間として、総合戦略が策定された。平成28年度の全体的な取り組みと総括について問う。
平成29年度は、折り返し年の節目となるが、予算編成への重点施策と目標数値達成への意気込みはあるのか。

答 北岸町参事

一次産業では、主に担い手対策、後継者の対策確保などを中心に経済的支援から育成支援まで多岐に亘る取り組み